

強化レッスン：11thコン第2部曲と、 特団強化レッスンを行いました。

10月1日

□10月1日(日)は、強化レッスンの日で、午前10時～12時まで、11thコンサートの第2部曲を、午後1時～5時間まで特別団員とともに、特団曲4曲をレッスンしました。

□午前の強化レッスンは、佃さんの体操、千秋さんのヴォイストレーニングに始まり、11thコンサートの第2部の曲、まず本並先生の指揮で、「フィンランディア」、「ヴォルガの歌」、「ルースカエ・ポーリエ」を、続いて伊藤副指揮者の指揮で、「歎びのナーダム」と、「SixPence」を、熱のこもったレッスンを行いました。ピアノは森二三さん、参加は全37名でした。



□10月から原則暗譜ということで、顔をあげてレッスンに臨んだ団員がほとんどでしたが、まだ、レッスンの中で歌い方を楽譜を見て確認する場面も多くあり、楽譜をはなす段階にはもう一歩といったところです。

□午後からの特団強化レッスンは、まず伊藤副指揮者の指揮で、「芭蕉布」と「さとうきび畑」、続いて、本並先生の指揮で、「労働者の合唱」と「沖縄を返せ」を、時間をかけてたっぷりレッスンしました。ピアノは同じく森二三さん、参加は、特別団員8名(全員参加、藤後名誉団長が今回から参加)を加え全47名(団員2名が午後から参加)でした。

□「さとうきび畑」は「改定3」の楽譜に代わりましたが、この楽譜で歌うのは、特別団員の皆さんにとっては今回初めてなので、時間をかけて譜読みをしました。

□特別団員を交えて45名の合唱はさすがに迫力があります。団員を増やさなくてはの思いが募ります。

□11thコンサートのパンフレットにのせるべく、各パート別の集合写真を撮りました(カメラマンは機材とも大島さん。ご苦労様でした)。特別団員も含め、特別の笑顔で写真に納まりました。

末廣亜矢子先生特別レッスン

9月29日

□9月29日(金)は、末廣亜矢子先生の特別レッスンの日で、この日は、「君死に給ふことなかれ」を音楽的に指導して頂きました。冒頭の指揮は本並先生、ピアノは西應静さんで、参加は全37名でした。



□今回の指導は、主に、「声帯をあらゆる緊張から解き放して自由にする」という課題でした。特に冒頭のテノールソロを題材に指導が集中し、「思い切り息を吸ってはいけない、吐ききったとき自然に入る息で声帯に力みのない発声する」、また、「声帯に力みが感じられるきれいな単音でなく、こすれの入った発声で良いから、もっと、感情を込めた声質、伸びのある発声にする」、「さあ歌うぞという意識をなくし声帯を自由にする」、「下半身から無駄な力みが声帯につたわらないよう、バンドを思い切りゆるめておく」等々、貴重な指摘を、毎回の如く熱意溢れるパフォーマンスで指導して頂きました。

11回コンサートの記事が

「ザ・淀川」に載りました!

□若園さんのご尽力で「第11回コンサート」の記事が「ザ・淀川」10月号に載りました。

□「ザ・淀川」は大阪市淀川区の全世帯、商店などに個別配布する月間タウン誌で、発行部数は9万部に上ります。



12月3日、男声合唱団「昂」の第11回コンサート『この道をゆこうよ』が、豊中市立文化芸術大ホールで開かれます。

「第11回コンサートでは、男声合唱団では珍しいとされる与謝野晶子の『君死にたまふことなかれ』を歌います。作曲家の石若雅弥さんが男声用に書き下ろした作品です。興味のある方はぜひ足を運んでください。そして、昂を気に入ってくださったら仲間になってほしいです。初心者大歓迎です」と、メンバーの若園達雄さん。

【第1部】日々草、花の歌、君死にたまふことなかれ 街を返せ、このみち 他
【第2部】飲びのナーダム、仕事の歌、フィンランディア 他
特別団員と「さとうきび畑」「芭蕉布」など
会場の皆様との合唱も

ペア2組ご招待
応募方法は13ページ

12月3日(日)
会 場：豊中市立文化芸術大ホール
(阪急宝塚線「曾根」駅より東へ約300m 徒歩約5分)
開 場：13時30分(開演：14時 終演予定：16時)
入場料：1500円(全席自由席)
高校生以下、障害者と介助者(1名)は500円引き

主催：男声合唱団「昂」 <http://subaru-osaka.info/>
問：090-7112-4238 (若園)

□次回の運営委員会は予定通り、10月15日(日)11時から行います。(本並先生、千秋団長は欠席です)